

国際経済連携推進センター 2021.8.27

国際情勢ウェビナー「イスラエルを取り巻く世界情勢の変化  
と同国の可能性」

# イスラエル新政権と変化する中東情勢

立山良司

防衛大学校名誉教授

# 報告の概要

1. イスラエル新政権の成立
2. イスラエルの変化:「のけ者国家」から「地域大国」に
3. イランをめぐる問題:核開発、地域関与、「影の戦争」
4. 先の見えないパレスチナ問題
5. 変化する中東とイスラエル

# イスラエル新政権の成立

## ◆2年以上にわたった政治的混乱

- 2年間で4回の総選挙＝安定的な連立政権樹立できず
- 比例代表例
- イスラエル社会の亀裂・分節化（聖と俗、貧富の差、中央と地方、右・中道・左派、ユダヤとパレスチナ・アラブなど）
- ネタニヤフ汚職容疑裁判

## ◆6月13日、新政権誕生

- 首相＝ナフタリ・ベネット「ヤミナ」党首（宗教的右派）
- 右派、中道、左派、パレスチナ系の8政党の連立
- 2年で首相をローテーション＝前半ベネット、後半ラピッド外相（「未来がある」党首）
- 信任投票＝賛成60、反対59、棄権1
- 12年以上に及んだネタニヤフ・リクード政権の終焉
- 「反ネタニヤフ」で結束を維持できるか？



「キツパをかぶった初の首相」ベネット首相（左）とラピッド外相

# 3月総選挙結果と新政権成立時の与野党議席数

## 連立8与党(62議席)

右派	ヤミナ	7 <sup>①</sup>
	新しい希望	6
	イスラエル我が家	7
中道/中道左派	未来がある	17
	青と白	8
	労働党	7
左派	メレッツ	6
アラブ系	ラアム	4 <sup>②</sup>

## 5野党(58議席)

右派	リクード	30 <sup>③</sup>
	宗教シオニズム	6 <sup>③</sup>
超正統派宗教 政党	シャス	9
	統一トーラー	7
アラブ系	合同リスト	6

- ① ヤミナの1議員は信任投票で、パレスチナ系政党との連立を嫌い反対票
- ② ラアムの1議員は、新政権のベドウィン政策を不満として棄権
- ③ 6月末に、リクードの1議員が宗教シオニズムに移籍。現在の議席数はリクード29、宗教シオニズム7。

# 「のけ者国家」から中東の「経済大国」「地域大国」

## ◆外交関係の拡大

- 1988年以前＝91か国
- 現在＝163か国(ソ連/ロシア、中国、旧ソ連諸国、イスラム諸国、アラブ諸国、アフリカ諸国など)
- 外交関係のない国＝サウジアラビアなどアラブ諸国、インドネシアやマレーシアなどのイスラム諸国

## ◆経済の拡大

- 社会主義的経済から市場経済、民営化、スタートアップ経済
- GDP/人＝1985年\$6,520 ⇒ 2020年\$43,611

## ◆地域大国へ

- 軍事作戦地域の拡大＝レバノン、シリア、イラク、スーダン、地中海、紅海、アラビア海、イラン(サイバー攻撃など?)
- 兵器システム、スパイウェアの輸出＝「ペガサス」問題(NSOグループ)

# イスラエルにとってのイラン問題(1)

- ◆「実存的脅威」=核(兵器)開発、ミサイル開発、テロ活動、アラブ諸国への関与(レバノン、シリア、イラク、イエメン)
- ◆核開発問題への対応
  - ネタニヤフ前首相=いかなる合意にも反対、トランプ政権の「最大限の圧力」政策支持
  - ベネット新政権=バイデン政権と歩調を合わせる構え
- ◆「有効な核合意」への懐疑
  - バイデン政権の取り組み=2015年合意(JCPOA)復帰、新たな核合意締結、さらに地域関与などにも対処
  - イランのJCPOA制限を超えた核開発活動
  - ブレークアウト・タイム(核兵器製造に必要な濃縮ウランの生産期間)=2~3か月に縮小との見方(JCPOA発効時は約1年)
  - イスラエル=「単なるJCPOA復帰は意味なし」「より強力な合意を」、しかし……
  - 軍事作戦の効果は限定的=作戦自体の危険・困難、イランの核開発能力(経験や知識)の抹消不可能、重大な報復の危険
  - イランが「核敷居国」(核兵器製造能力を持つ国)になることは止められない?

# イランの合意を超える核活動

- ウラン濃縮度の引き上げ
  - JCPOA＝15年間3.67%まで
  - 20%開始(2021.1)、60%開始(2021.4)
- 濃縮ウランの蓄積増大
  - JCPOA＝15年間3.67%濃縮ウランを300kgまで
  - 3241kg(2021.5.22現在IAEA推定)、うち6フッ化ウランとして3006kg (2%1362kg、5%1773kg、20%63kg、60%2.4kg)
  - 20%108kg(2021.6.15現在、イラン政府発表)【核兵器1個製造に必要とされる濃縮ウランの量＝20%濃縮で約155kg)
- より高性能な遠心分離装置の設置・使用
  - JCPOA＝10年間IR-1型のみ
  - IR-4、5、6型など設置・使用
- 金属ウランの生産
  - JCPOA＝15年間禁止
  - 金属ウラン生産開始(2021.2)



# イスラエルにとってのイラン問題(2)

## —地域覇権争いと「影の戦争」

### ◆レバノン、シリアをめぐる対立

- ヒズボラとの対立
- シリアにおけるイスラム革命防衛隊(IRGC)関連組織・施設への攻撃

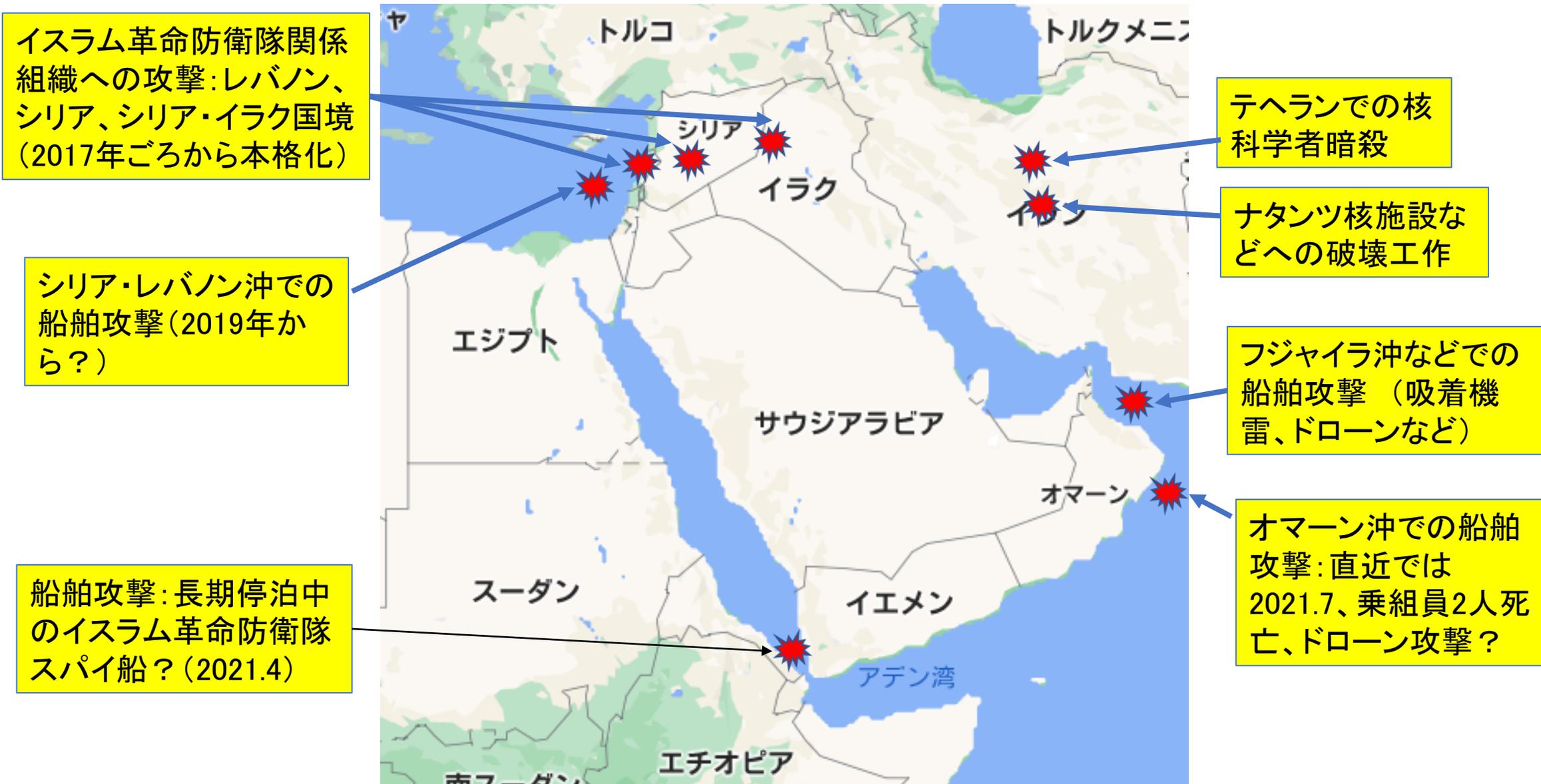
### ◆イランの核開発妨害

- 核施設(ナタンツなど)への破壊工作
- サイバー攻撃
- 核科学者に対する標的殺害

### ◆海上での対立・相互攻撃

- 2021年3月ごろ表面化
- イラン関係船舶への攻撃=レバノン/シリアへのアクセス拒否、密輸妨害など
- イスラエル関係船舶への攻撃

# 拡大するイスラエル・イラン間の「影の戦争」



# 永続化するパレスチナ問題

- ◆イスラエル・パレスチナ和平交渉の破綻＝非現実的となった2国家解決案
- ◆出口のないガザ問題
  - ハマス壊滅は不可能
  - 「草刈り」戦術＝「草が伸びれば刈る」
- ◆弱体化するパレスチナ自治政府
  - 汚職、選挙不実施、人権抑圧などで高まる批判、失われる正統性
  - 85歳のアッバス大統領(PLO議長)＝後継者問題
- ◆イスラエル国内での2民族の対立＝ユダヤ系とパレスチナ系
- ◆米民主党支持者、民主党議員のイスラエル批判
  - 米議会のイスラエル支持＝超党派による支持という「資産」に陰り？
  - 近年、占領の長期化、人権問題、過剰攻撃などの視点からイスラエルを批判

# 変化する中東とイスラエル

## ◆アラブ諸国との関係拡大

- UAE、モロッコなど4か国との国交
- サウジなどと水面下での関係拡大
- 多様化する脅威＝イランの拡大、「アラブの春」以降の内戦・地域紛争、テロ組織、強化化する非国家主体(NGO)
- 地域覇権争い＝イラン、イスラエル、サウジ、UAE、トルコ、カタール。「どんぐりの背比べ」
- 経済改革の必要性＝脱石油、経済の多様化

## ◆米国の中東からの「撤退」

- 一定の戦力は維持、しかし軍事介入の考えはなし
- アフガニスタンからの撤退＝新たな「力の真空」、誰が埋めるのか？
- イスラエルの「不安」、ベネット政権はバイデン政権との「密接な関係」強調

## ◆中国の進出

- イスラエルへの投資＝インフラ(港湾、鉄道)、スタートアップ企業
- 米国の「懸念」